

だい き さいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい
第5期幸区区民会議第5回専門部会
ちいきりよく く ぶかい
～地域力で暮らしやすいまち部会～
ぎ じ し だい
議 事 次 第

にちじ ねん がつ にち きん じはん
日時 2015年2月20日(金) 18時半から
ばしよ さいわいくやくしよ かいこうどう
場所 幸区役所4階講堂

1 かいかい
開会

2 ぎだい
議題

- (1) ひ ありん ぐ ちょうさなど ほうこく
ヒアリング調査等の報告について
- (2) こんご ちょうさしんぎ
今後の調査審議について
- (3) だい き さいわいくくみんかいぎ だい かい ほうこくないよう
第5期幸区区民会議(第3回)における報告内容について
- (4) こんご すけ じ ゅ ー る
今後のスケジュールについて

3 ほか
その他

4 へいかい
閉会

はいふしりょう
《配布資料》

- しりょう ひ ありん ぐ ちょうさほうこく ゆめみがさきちいきほうかつしえん せん た ー
資料1 ヒアリング調査報告「夢見ヶ崎地域包括支援センター」
- しりょう ひ ありん ぐ ちょうさほうこく ちいきほうかつしえん せん た ー
資料2 ヒアリング調査報告「かしまだ地域包括支援センター」
- しりょう ちょうないかい じち かい かつせい かこうざ しりょう
資料3 町内会・自治会活性化講座 資料
- しりょう こんご ちょうさしんぎ あん
資料4 今後の調査審議について(案)
- しりょう だい き さいわいくくみんかいぎ だい かい ほうこくないよう あん
資料5 第5期幸区区民会議(第3回)における報告内容について(案)
- しりょう だい き さいわいくくみんかいぎ すけ じ ゅ ー る あん
資料6 「第5期幸区区民会議」スケジュール(案)
- ほか だい き さいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい ちいきりよく く ぶかい てきろく
その他1 第5期幸区区民会議第4回専門部会(地域力で暮らしやすいまち部会) 摘録
- ほか だい き さいわいくくみんかいぎいん さんよめいぼ
その他2 第5期幸区区民会議委員・参与名簿

だい かいせんもんぶかい ちいきりよく く ぶかい かくとくもくひょう
《第5回専門部会(地域力で暮らしやすいまち部会) 獲得目標》

だい かいぜんたいかいぎ ほうこくないよう けつてい
・第3回全体会議の報告内容の決定

ひ ぁ り ん ぐ ち ょ う さ ほ う こ く ヒアリング調査報告

し ゃ か い ふ く し ほ う じ ん わ ら く か い ゆ め み が さ き ち き ほ う か つ し え ん せ ん た ー
(社会福祉法人 和楽会 夢見ヶ崎地域包括支援センター)

- もくてき
- (1) ち い き げ ん じ ょ う か だ い は あ く
地域での現状課題の把握
 - (2) か つ せ い か み ま も か ん と り く み し ゅ う し ゅ う
活性化・見守りに関する取組の収集
 - (3) ち い き き だ い や く わ り か く に ん
地域に期待する役割の確認
 - (4) ち い き だ ん たい か ん れ ん け い か の う せ い
地域での団体間の連携の可能性

1 とうじつ ち ょ う さ 1 当日の調査について

- に ち じ へ い せ い ね ん が つ に ち き ん
日時 平成27年1月30日（金）15：00～16：00
- ば し ょ ゆ め み が さ き ち き ほ う か つ し え ん せ ん た ー ない み な み か せ
場所 夢見ヶ崎地域包括支援センター内（南加瀬1-7-14）
- き ん か し ゃ な り か わ ぶ が い ち ょ う ま つ い ふ く ぶ が い ち ょ う い と う い い ん お の い い ん
参加者 成川部会長、松井副部会長、伊藤委員、小野委員
じ ゅ む き ゃ く き か く か す ず き し ゅ く い ん や ま だ し ゅ く い ん
事務局 企画課（鈴木職員、山田職員）
- ち ょ う さ たい し ょ う か わ だ し せ ん た ー ち ょ う
調査対象 川田氏（センター長）

2 とうじつ ぎ ゃ う す 2 当日の様子



3 ひアリング結果

① 見守り・支えあい活動の現状について

◆見守りが必要な人について相談があった場合の対応について

- 基本的には、民生委員や知人など地域の方に見守りをお願いしている。認知症の症状などにより地域の方が見守ることが困難な場合には、定期的な訪問など、地域包括支援センターで見守りを行うことはある。
- 見守りが必要な人（以下「対象者」）が日頃から地域包括支援センターと関係があれば、訪問状況をj確認する。関係がない場合は、対象者について相談してくれた人（以下「相談者」）と一緒に訪問すると、対象者も警戒しないので良い。相談者が一緒に訪問することを拒否する場合は、相談者の存在は明かさずに対象者宅を訪問する。
- 相談は、民生委員やケアマネからだけでなく、地域の方からのクレームとしてあがることが多い。クレームとして相談がある場合は困っていることが明確である。他に、地域の方から区役所や民生委員に相談して、地域包括支援センターに情報提供がある場合もある。

◆地域の見守り体制を築くことができた事例について

- ケアマネから相談があったケースで、認知症の症状などもあり、介護保険サービスだけでは在宅での生活が困難になってきた人がいた。対象者の関係者として、地域包括支援センター、区役所、ケアマネ、介護保険サービス事業所、家族、友人、近隣住民、民生委員などで、どう支えるか「地域包括ケア会議」を開催し検討した。ケースによっては、対象者の他の友人や会社の同僚、主治医のいる医療機関関係者などにも関わってもらう。見守りをしてくれる方々には、介護保険サービスを利用する時間帯を情報提供し、それ以外の時間について、対象者になにか変化があれば地域包括支援センターや家族などに連絡してもらえるような見守り体制を整えた。
- 個人情報取り扱いがあるので、近隣住民に情報提供して良いかなど、本人や家族に必ず同意を取っている。
- 地域の見守り体制が確立し機能した成功事例はいくつかあるが、対象者が施設入所するなどしたため、現時点で機能している事例はない。

② 地域に期待する役割について

◆日頃から地域の中で関係性を築き継続していく

- 見守りが必要な事例が発生した場合、タイムリーに対応する必要がある。日頃から民生委員や町内会・自治会など、地域の関係性が築けていればスムーズに対応できる。
- いまある近所との関係性を崩さず、さりげなく気にかけていくことだけでも、立派な見守りになる。それこそ、地域の方にはしかできない見守りといえる。
- 認知症の症状があり徘徊などをしてしまう人は、地域の方のちょっとした声掛けで未然に事故を防ぐことができる。

◆負担にならない見守りを継続する

- その人の生活に踏み込んだ見守りは、地域の方にはハードルが高い。地域包括支援センターやケアマネなどが、業務の一環として踏み込んだ見守りを行い、地域の方は、できる範囲でゆるやかな見守りをするなど役割分担ができるとよい。

・負担がかかると長続きしない。「なにかあったときに誰かが気付いてあげられる環境」が大切である。

◆地域から始まる見守り体制への期待

- ・行政中心で構築した見守り体制は、単発で終わることが多いが、地域から始まったものは長く続いていくことが多い。日常生活の最前線はやはり地域なので、地域から始まる見守り活動が理想的である。地域包括支援センターとしても、ノウハウの提供など、地域での見守り活動を続けるための協力をしていきたい。
- ・町内会・自治会など既存団体での組織的な見守り体制を構築することができれば、理想的だと思う。

③地域での団体間の連携の可能性について

◆町内会・自治会との連携について

- ・民生委員と同様に、町内会・自治会とも、もっと関係を密にしていきたいと思っているが、町内会・自治会の負担にならないような関わり方を模索している状況である。
- ・市民向けに「地域包括ケアシステム」の講演会を開催し、町内会・自治会にも協力してもらっている。「地域包括ケアシステム」の構築は、今後10年以内に必要不可欠なもの。地域の方に身近な問題として捉えてもらうための、普及啓発が必要である。

◆障害者や子どもの支援団体との連携について

- ・障害者については、障害者相談支援センターと年一回連絡会を開催している。障害者の高齢化に伴う対応は難しい問題で、今後もより一層連携を図っていく必要がある。お互い「地域のネットワークづくり」という目的は同じなので、協力してやっていきたい。
- ・子どもについては、課題意識はあるがまだ進められていない。まずは障害者からといった状況。

◆連携の中心について

- ・地域包括支援センターが地域の団体を取りまとめるのではなく、事務局として、地域の団体などと協力体制を築いていきたい。
- ・今後は一つの地域単位で、民生委員、町内会・自治会、ケアマネ、介護保険サービス事業所、医療機関など、様々な団体と連携する体制を築いていかないといけない。そのためには、互いの理解が必要なため、交流会など少しずつ開催していきたい。

④見守り・支えあい活動についての課題・悩みについて

◆見守りが必要な人の把握について

- ・介護保険サービスを利用している人は、定期的に見守られる機会がある。サービスを受けていない人こそ見守りの必要性が高く、地域の方の気づきが重要となる。
- ・孤立して子育てをしている人や障害者を介護する高齢の人などが困ったときに、すぐに地域で気付くことできる体制づくりも重要となる。

◆介護予防や認知症予防の重要性についての普及啓発

- ・今後、高齢者が高齢者を支えなくてはいけない時代がくる。そうなったとき、支える側となるのは、いまの50代60代の人たち。長く元気でいてもらうためにも、介護予防や認知症予防の重要性を普及啓発していかないといけない。また、地域活動に参加してもらえ体制づくりも課題である。

◆地域の見守り体制の構築

- ・高齢者に限らず、障害者や子どもといった幅広い世代で、地域の見守り体制の構築が求められている。そのためには、まずはなにかあったときに気付くことのできる関係を築き継続していくことが重要になる。

◆地域包括支援センターの役割を周知することが重要

- ・地域の中で、地域包括支援センターの役割がいまだに定着していないと感ずることがある。町内会・自治会の集まりなどに積極的に参加し、周知を図っていく。

4 まとめ

○第4期のテーマでもあった個人によるゆるやかな見守りは重要。

○「なにかあったときに誰かが気付けてあげられる環境」には、「些細な変化に気付く人がいること」が大切。近所に住む方など地域の方が頼りになる。

○町内会・自治会など既存団体での組織化した見守り体制を構築することが求められている。

○組織化した取組の中で、高齢者に限らず、障害者や子どもを支える仕組みを構築し、地域に広げていくことができれば理想的である。

○見守り活動を行ううえで、認知症の症状への理解や対応が求められている。

○「地域包括ケア会議」は、地域の関係団体等が連携していくツールとして活用できる。

○高齢者が高齢者を支える時代を迎えるにあたり、自分自身の健康についても関心を高め、介護予防や認知症予防を実践していくことが重要である。

ひ ぁ り ん ぐ ち ょ う さ ほう こ く
ヒアリング調査報告

しゃかいりょうほうじんざいだん せきしんかい ちいきほうかつしえん せん た ー
(社会医療法人財団 石心会 かしまだ地域包括支援センター)

- もくてき (1) ちいき げんじょうかだい はあく
地域での現状課題の把握
- (2) かつせいか みまも かん とりくみ しゅうしゅう
活性化・見守りに関する取組の収集
- (3) ちいき きたい やくわり かくにん
地域に期待する役割の確認
- (4) ちいき だんたいかん れんけい かのうせい
地域での団体間の連携の可能性

1 とうじつ ちょうさ
当日の調査について

- 日 時 へいせい ねん がつ にち すい
平成27年2月4日 (水) 10:00~11:30
- 場 所 さいわいくやくしよ ぐれは ぶ かいぎしつ
幸区役所プレハブ会議室
- 参 加 者 なるかわぶかいちよう おの しいん
成川部会長、小野委員
- 調 査 対 象 じむきょく きかくか すずきしよくいん やまだしよくいん (かぶ) けいかくぎじゆつけんきゅうしよ (あ べ)
事務局 企画課 (鈴木職員、山田職員)、(株) 計画技術研究所 (阿部)
- 調 査 対 象 ちようさいしやう ふかいし せん た ー ちよう やなぎはらし しゆにん
深井氏 (センター長)、柳原氏 (主任)

2 とうじつ ようす
当日の様子



3 ひ ありんぐ けっか 3 ヒアリング結果

① みまも きさい かっどう げんじょう ① 見守り・支えあい活動の現状について

◆ 「かしまだ包括けんこう塾」という場づくりとそれを活用した見守り

- ・元氣な高齢者（65歳以上）を対象に、介護予防や認知症予防に関する講話や簡単な体操、レクリエーションなどを行う「かしまだ包括けんこう塾」を月1回（第2金曜日・午前）開催しており、健康に役立つ情報交換や参加者同士の交流の場となっている。
- ・「かしまだ包括けんこう塾」では、体操やレクリエーション等で、男性だけのグループを作ったり、男性のニーズを捉えた講座（医師などによる専門的な講座など）を実施することで、男性参加者の参加も増加傾向にある。
- ・目の悪い人には眼科の先生が講演するときに声をかけるなど、興味のある回に出てもらうことでつながりを持つ。
- ・要支援1、2の方も多く参加している。対象は65歳以上の高齢者となっているが、中には50歳代の方もいる。
- ・「かしまだ包括けんこう塾」では、参加者名簿を作成し、緊急連絡先を確認している。開催時には、出欠確認を行っており、参加者は近隣の方が多いので、参加者同士の見守り意識を高めることにもつながっている。地域包括支援センターとしても理由が分からず欠席が続く方などがあれば、民生委員に情報提供するなど見守りにつなげられる。

◆ ボランティアの育成と連携

- ・ふれすこサポーター養成講座や認知症高齢者介護教室などで知り合った方々に「かしまだ包括けんこう塾」の企画運営を協力してもらっている。
- ・そうしたつながりができたボランティアの方々には、「かしまだ包括けんこう塾」以外の活動時にも協力してもらっており、非常に心強い存在である。

◆ かしまだ包括虹便りによる情報発信

- ・平成26年8月から「かしまだ包括虹便り」を発行している。地域包括支援センターの役割や取組の紹介、今年度のテーマを「気づき」として、地域での見守りの重要さや具体的な「気づき」のポイントなどを掲載している。
- ・診療所に設置したり、地域包括支援センターの活動時に配布している。今後、町内会・自治会等への配布も検討し、より多くの方に情報提供を行い、地域包括支援センターを知ってもらうと共に見守りへの関心を高めてもらいたい。

◆ 民生委員との連携による見守りに関する情報共有

- ・民生委員とは定期的に意見交換を行っており、良い関係が築けている。情報共有が地域の見守りにもつながっている。

②地域に期待する役割について

◆町内会・自治会など既存のネットワークを活用した見守り体制

- ・地域のネットワークをゼロから作るのは大変なこと。いま既にある町内会・自治会や地域のボランティア団体などのネットワークを活用することができれば、効果的な見守りにつながると思う。
- ・閉じこもりがちの人などの把握にも、そうしたネットワークが活用できると思う。

◆「地域包括ケアシステム」の必要性を理解してもらい、意識してもらおう

- ・今後、地域包括ケアシステムの構築が必要となる。より多くの方に、地域包括ケアシステムの構築が身近な問題であると理解してもらい、できることから始めてもらうような意識付けを行っていききたい。
- ・今後、町内会・自治会の役員会などに出席し、地域包括ケアシステムの説明を行っていく予定である。地域で広めていききたいと思う。

③地域での団体間の連携の可能性について

◆町内会・自治会との連携について

- ・町内会・自治会と関係を密にしていきたいと思っているが、これまで担当エリアが変わってきたことなどがあり、現時点では関わりに濃淡がある。地域包括支援センターから積極的に町内会・自治会に働きかけていく必要があると思っている。
- ・町内会・自治会の役員に負担のかからないように、「地域を良くする」という同じ目標の中で、協力できるところは協力し、活動できたらと思う。
- ・地域包括支援センターでは多様な職種とのネットワークが充実しているので、町内会・自治会で実施するイベントなどで、講師を紹介するなど協力できると思う。
- ・地域包括支援センターが出来て9年が経過し、この9年間で民生委員とは太いパイプが築け、頼りにされていることが実感できるような関係となった。今後、時間をかけて、町内会・自治会とも良い関係を築いていきたい。

◆障害者支援機関との連携について

- ・年1回程度、障害者相談支援センターと情報共有を行う機会がある。また個別ケースでは、対応について相談することもある。少しずつではあるが、つながりが強くなっている。
- ・「かしまだ包括けんこう塾」の開催後に、障害者施設・セルブ北加瀬（北加瀬1-31-5）で製造するパンを販売している。その後は、参加者や運営ボランティアの方々とお茶をしながらコミュニケーションを図る機会を設けている。

④見守り・支えあい活動についての課題・悩みについて

◆見守りが必要な人の把握について

- ・見守りが必要な人に関する情報を全て把握できないため、民生委員との情報共有など、把握できるよう今後も努力していく。また、地域包括支援センターが民生委員や地域の方にとって相談しやすい場となるよう、積極的に地域に出ていきたい。

◆地域のボランティアとの連携

- ・地域でイベント等を実施する時、新規のボランティアに協力を求めることが難しい。今後、地域のボランティアといつでも協力できる体制を作れると、活動の幅も広がると思う。

◆適切な役割分担

- ・地域包括支援センターだけではマンパワーに限りがあるので、負担のない範囲で町内会・自治会など既存団体と上手く役割分担ができると良い。
- ・例えば、「かしまだ包括けんこう塾」のようなものを、町内会主催で実施する場合、センターのネットワークを活用して、医師などに協力を求めることができる。講演などは、医師、講座を受ける受講者相互にメリットがある。

◆イベント実施のスペースがない

- ・かしまだ包括支援センターは事務所機能だけで、イベント実施するためのスペースがない。経費をかけず広いスペースを確保できるとよい。
- ・事務所の近くに住んでいる人は、「かしまだ包括けんこう塾」などの活動に参加できるが、遠くの人には来ることが難しい。地域には町内会館があるが、階段などが支障となる。現在、地域の方の知恵を借りて地域の場づくりに向けて検討中である。

4 まとめ

- 地域で効果的な見守りを行うには、民生委員と町内会・自治会、地域包括支援センターが一体となって取り組むことが必要である。
- 民生委員との関係同様、今後は町内会・自治会との関係づくりに力を入れていく。
- より多くの高齢者に介護予防や認知症予防などに関心を持ってもらうことも大切であり、そのための取組として、地域包括支援センターの持つ専門職などのネットワークが活用できる。
- ボランティアの育成や既存のボランティアとの連携も重要となる。
- 地域包括ケアシステム構築の重要性を自分のこととして理解してもらうことが大切である。広く知らせるためには町内会・自治会の協力を得ることが効果的だと思ふ。

地域を豊かにするために

～町内会・自治会活性化講座～

町内会・自治会は、豊かな地域づくりのために重要な役割を担っています。

「孤独死ゼロ」の自治会として、全国の注目を集める立川市大山団地の自治会会長の佐藤氏ほか、講師の方をお招きして町内会・自治会を活性化させるための講座を開催します。

町内会・自治会の活動をはじめ地域活動に参加している皆様、
また、新しい思いで地域デビューを考えている皆様の御参加をお待ちしております。
(敬称略)

第1回 2月3日(火) 別紙1

内容 町内会・自治会入門
～自分を活かす活動の極意
講師 元宮前区長
大下 勝巳

第2回 2月10日(火) 別紙2

内容 先進事例に学ぶ
～命を守る立川市の自治会
講師 東京都立川市大山自治会
会長 佐藤 良子

第3回 2月17日(火) 別紙3

内容 磨けば輝く町内会・自治会の底力
講師 専修大学経済学部講師
犬塚 裕雅

第4回 2月24日(火)

内容 大都市における
町内会・自治会と地域リーダー
講師 首都大学東京教授
和田 清美

※講師・プログラムは変更となることがあります。

日時 平成27年2月3日～24日の毎週火曜日

19時～20時30分(全4回) ※1回だけの受講も可能です。

場所 川崎市幸市民館

定員 40名(先着順) ※幸区内在住の方優先

受講料 無料

申込み 電話・メール・窓口に直接(名前・住所・電話番号)

募集 平成27年1月15日(木)受付開始

申込み・問い合わせ先

幸区役所まちづくり推進部地域振興課
電話：044-556-6609 FAX：044-555-3130
メール：63tisin@city.kawasaki.jp

主催 川崎市幸区役所

※容量重いため、別紙資料の添付はなし



こんご ちょうさしんぎ あん
今後の調査審議について（案）

こうれいしゃ しょうがいしゃ こどもを しえん かんけいきかん ちゆうしん げんじょうかだいなどはあく ひ ありんぐ ちょうさ
高齢者、障害者、子どもを支援する関係機関を中心に、現状課題等把握のためのヒアリング調査を
実施する。別紙

1 ひ ありんぐ ちょうさ
1 ヒアリング調査

(1) 実施日が決定しているヒアリング調査の参加者の確認について

① 障害者相談支援センター（さいわい基幹相談支援センター）

日時 2月24日（火） 10時から1時間程度

場所 幸区役所プレハブ会議室

リーダー 松井副部長

参加者

② 鋼管通2丁目町内会

日時 3月5日（木） 14時から1時間程度

場所 鋼管通2丁目町内会館（川崎区鋼管通2-7）

リーダー 成川部会長

参加者

③ 地域子育て支援センターふるいちば

日時 3月10日（火）または11日（水）で調整中 時間未定（1時間程度）

場所 地域子育て支援センターふるいちば（幸区古市場1-1）

リーダー 村田委員

参加者

(2) 来年度実施するヒアリング調査について

① 戸手中部町内会九十九会

リーダー 佐藤委員

② くぬぎ台団地自治会

リーダー 伊藤委員

③ 認知症カフェの視察（案）

※地域包括支援センターへのヒアリング調査を実施し、認知症の症状があり在宅で生活
している方は見守りが必要となるケースが多いことがわかった。

(3) ヒアリング項目の加除修正等について

- ① 子ども・高齢者を対象とした見守り・支えあい活動があれば教えてください
- ② 見守り・支えあい活動についての課題・悩みがあれば教えてください
- ③ 見守り・支えあい活動で連携している団体はありますか
- ④ 見守り・支えあい活動で今後連携して取り組みたい団体はありますか
- ⑤ 地域に期待している役割はありますか
- ⑥ 加入促進につながっていると思われる活動があれば教えてください
- ⑦ 加入促進についての課題・悩みがあれば教えてください
- ⑧ 特徴的な活動があれば教えてください

2 来年度の取組内容について

○ヒアリング調査をもとに、具体的な取組とその効果を想定し、試行的に実施する。

例：町内会・自治会組織を中心とした見守り・支えあい体制の確立など

だい きさいわいくくみんかいぎ だい かい ほうこくないよう あん
第5期幸区区民会議（第3回）における報告内容について（案）

1 ほうこく ないようこっし
1 報告の内容骨子

ちようさしんぎ ほうこうせい
(1) 調査審議の方向性について

しんぎてーま とりくみ ほうこうせい ほうこく
審議テーマと取組の方向性について報告

- ちようないかい みんせいいいん ちいき れんけい こうれいしゃ しょうがいしゃ こ ささ しく
① 町内会や民生委員など地域が連携し、高齢者、障害者、子どもを支えるための仕組
みづくり
- かにゆう めりつと じっかん みりよく ちようないかい
② 加入のメリットが実感できる魅力ある町内会づくり

ちようさないよう
(2) 調査内容について

とりくみ ほうこうせい もと おこな ちようさないよう ほうこく
取組の方向性に基づき行ったこれまでの調査内容について報告

- ちいきほうかけあしすてむ べんきょうかい
① 地域包括ケアシステムの勉強会
- たく たとしじれい ちようさ
② 他区・他都市事例の調査
- ひありんぐちようさ ちいきほうかつしえんせんたー しょうがいしゃそうだんしえんせんたー こうかんどおり ちようめ
③ ヒアリング調査（地域包括支援センター、障害者相談支援センター、鋼管通2丁目
町内会など）

こんご ちようさよてい
(3) 今後の調査予定について

こんごよてい ちようさないよう ほうこく
今後予定している調査内容について報告する。

- ぶかい てーま こうれいしゃ しょうがいしゃ こ かん ちようさ
① 部会のテーマのとおり、高齢者、障害者、子どもに関する見守りの調査をする
- たく たとし ちようないかい たいしょう ちようないかい かつせいか とりくみちようさ
② 他区・他都市の町内会を対象に、町内会の活性化につながる取組調査をする

らいねんどちようさしんぎ ほうこうせい
(4) 来年度調査審議の方向性について

ちようさしんぎ み らいねんど ちようさしんぎ ほうこうせい ほうこく
これまでの調査審議により見えてきた、来年度の調査審議の方向性などを報告する。

- だい き はってん ちようないかいなど みまも かつどう そしきか
① 第4期を発展させ、町内会等による見守り活動の組織化
- ちようさ え ひんど とりくみも での けんどう
② 調査によって得たヒントをもとに取組モデルを検討する

2 ほうこくしゃ
2 報告者

ほうこくしゃ いない
《報告者》 _____ 委員

だい かいきかくうんえいかいぎ がつ か すい しゅつせき いない のぞ
※第2回企画運営会議（3月4日（水）18:30～）に出席できる委員が望ましい。

ちいきりよく く ぶかい ちょうさしんぎすけじゅーる あん
「地域力で暮らしやすいまち部会」調査審議スケジュール（案）

1 審議テーマについて

- (1) 高齢者・障害者の暮らしやすい街の実現
(2) 地域コミュニティ活動の活性化

2 今後の取組の方向性について

- (1) 町内会や民生委員など地域が連携し、高齢者、障害者、子どもを支える仕組みづくり
(2) 加入のメリットが実感できる魅力ある町内会づくり

3 部会調査審議スケジュールイメージ

ねんど 年度	つきひ 月日	かいぎめい 会議名	かいぎ かくとくもくひょう 会議の獲得目標
2014 ねんど 年度	がつ にち 7月31日	だい かいくみんかいぎ 第1回区民会議	
	がつ にち 9月30日	だい かいぶかい 第1回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・審議テーマの選定 ・正副部会長の選出 ・部会名の検討
	がつ にち 10月28日	だい かいぶかい 第2回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・部会名の決定 ・審議テーマに係る他都市等の取組調査 ・今後の取組の方向性の決定
	がつ にち 12月3日	だい かいくみんかいぎ 第2回区民会議	
	がつ にち 12月16日	だい かいぶかい 第3回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取組の方向性の整理 ・現状課題の把握① （調査内容の検討等）
	がつ にち 1月27日	だい かいぶかい 第4回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・現状課題の把握② （関係機関へのヒアリングや関係施策の勉強会等）
	がつ がつ 2月～3月	ちょうさきかん 調査期間	
	がつ にち 2月20日	だい かいぶかい 第5回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果の振り返り ・課題解決に向けた具体的な方向性の決定 ・「第3回区民会議」報告内容等の検討
	がつ にち 3月19日	だい かいくみんかいぎ 第3回区民会議	<ul style="list-style-type: none"> 《調査審議状況の報告》 ・調査内容及び実施状況の報告 ・課題解決に向けた具体的な方向性の報告
2015 ねんど 年度	かいぎかいさいかいすう 《会議開催回数》		ちょうさしんぎいめーじ 《調査審議イメージ》
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議…3回 ・企画運営会議…3回 ・専門部会…8回 		<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を踏まえたモデル実施及び検証 ・課題解決方法の検討等

「第5期幸区民会議」スケジュール案(2015年2月20日時点)

	2014年度(平成26年度)										2015年度(平成27年度)										2016年度(平成28年度)		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-5月	6月
	<p>区民会議(全体会議)</p> <p>企画運営会議</p>	7/31 第1回					12/3 第2回			3/19 第3回				だい かい 第4回				だい かい 第5回			だい かい 第6回		
<p>自転車事故ゼロ部会</p> <p>7/1 第5期幸区民会議任期開始</p>				10/1 第1回 10/31 第2回		12/17 第3回		2/2 第4回 2/23 第5回				だい かい 第6回	だい かい 第7回	だい かい 第8回		だい かい 第9回	だい かい 第10回	だい かい 第11回		だい かい 第12回	だい かい 第13回		
<p>地域力で暮らしやすいまち部会</p>			9/30 第1回	10/28 第2回		12/16 第3回	1/27 第4回	2/20 第5回				だい かい 第6回	だい かい 第7回	だい かい 第8回		だい かい 第9回	だい かい 第10回	だい かい 第11回		だい かい 第12回	だい かい 第13回		
<p>予算要求</p>	平成27年度予算要求					平成27年度予算議決					平成28年度予算要求					平成28年度予算議決							

○審議テーマの選定
「自転車の交通安全対策」

○部会名の決定

○正副部会長の決定

○取組の方向性の決定

○審議テーマに関する課題整理

○関係団体に関するヒアリング

○現地調査の実施

○ヒアリングを踏まえた課題解決手法・実施主体の検討

○課題解決に向けた実践的取組

○課題解決手法・実施主体の継続的検討

○提言内容の検討、とりまとめ

○フォーラム実施内容の検討

○審議テーマの選定
「高齢者・障害者の暮らしやすい街の実現」

「地域コミュニティ活動の活性化」

○部会名の決定

○正副部会長の決定

○取組の方向性の決定

○審議テーマに関する課題整理

○関係団体に関するヒアリング

○調査・ヒアリングを踏まえた課題解決手法・実施主体の検討

○課題解決に向けた実践的取組

○課題解決手法・実施主体の継続的検討

○提言内容の検討、とりまとめ

○フォーラム実施内容の検討

提言内容の決定

第5期区民会議フォーラム

報告書のとりまとめ

区長へ報告書の提出

6/30 第5期幸区民会議任期終了